

2011クラウドコンピューティング市場—現状と今後の展開予測—

企画主旨

クラウドコンピューティングの実態についてユーザアンケートとベンダインタビューの両面から調査。ユーザニーズ動向ではユーザ企業内に構築するプライベートクラウド、ベンダのデータセンタ内に構築するプライベートクラウド、パブリッククラウドという切り口で調査。また、国内IaaSベンダの取り組み動向などをインタビューし、直近のクラウドの現状と今後の予測を徹底分析。

本資料のポイント

- インターナルプライベートクラウド、エクスターナルプライベートクラウド別のユーザー利用状況や利用意向、想定投資額などを調査。
- ホスティングサービスなど既存サービスとクラウドコンピューティングの違いを明確化。そのコアベネフィットに注目したユーザーニーズ調査を実施。
- クラウド事業を展開するSierなどの取り組み実態を詳細に研究。

インターナルプライベートクラウドが先行
クラウド利用は3年後に大きく進展する兆し
俊敏・柔軟…ユーザーはクラウドを求めている？
システムの3割をクラウドに
基幹系クラウド-着実に増加

発刊日：2011年1月31日

体裁：A4判225頁

定価：書籍（定価）157,500円（本体 150,000円 消費税 7,500円）
PDF（定価）157,500円（本体 150,000円 消費税 7,500円）
セット（定価）189,000円（本体 180,000円 消費税 9,000円）

※セット（書籍とPDF）価格は同時にお買い上げ頂く場合の特別価格です。後日いずれかの媒体の追加購入の際は、セット価格の適用は致しかねます。予めご了承ください。

市場概況

インターナルプライベートクラウド市場規模は、2010年は641億円になると見込む。2011年は77.1%増の1,135億円、2012年は前年52.3%増となる1,728億円と予測する。2014年になると伸び率にも陰りがみられ、2015年には前年比4.6%の成長に留まる見通しである。2010年見込～2015年予測までの年平均成長率(CAGR)は32.7%となっている。

現在、クラウドコンピューティング市場においては、大手企業を中心にインターナルプライベートクラウドが先行している。背景にあるのは、ユーザー企業のコスト削減ニーズである。クラウドコンピューティングの技術を自社のIT設備に適用することで、H/Wと運用コストの削減を狙う大手ユーザー企業が先行して取り組んでいる。また、企業ポリシーとして個人情報については外部のデータセンターにおくことができないという企業も少なくないことから、インターナルプライベートクラウドが優先されている側面もある。

ベンダー側からは、従量課金型として長期間で売上が回収していくパブリッククラウドに対し、インターナルプライベートクラウドはワンショットで売上が生じるため、立ち上がりは必然的にインターナルプライベートクラウドの方が大きくなる。こうしたことから、クラウドコンピューティング市場においてもインターナルプライベートクラウド市場が先行して立ち上がっているといえよう。

■お申込

○書籍のみのご注文について

・同封の資料購入申込書に所定事項をご記入の上、FAXでお申込み下さい。メールでのお申込みも受付けております。

○PDF、セット商品のご注文について

・PDF、セット商品については、弊社のホームページ(<http://www.yano.co.jp/>)にてご注文を承っております。その際はYRI Webメンバー（登録無料）にてログイン頂くか、またはYDB会員の方は、会員制ライブラリー「ヤノデータバンク」の会員専用ホームページ(<http://www.ydb.jp/>)にてログイン後、ご注文頂きますようお願いいたします。

・上記手順によりご注文頂いた後に、弊社よりPDFファイルをダウンロードする手順をEメールでご案内いたします。その他詳しくはホームページ上にてご案内しておりますので確認の上ご購入ください。

■お問合せ：営業本部 カスタマーセンターまでご連絡ください。

e-mail: customer@yano.co.jp / TEL 03-5371-6901 FAX 03-5371-6970

弊社ホームページからもお問合せ頂けます。(<https://www.yano.co.jp/contact/>)

※PDF、セット商品はホームページからご注文を承っております。

I 総論

1. 2011年 クラウドのテーマは「社会」をどう変えるかに
 1.1. テーマは「クラウドが社会へ与える影響」に
 1.1.1. クラウド時代のビジネスモデルは固まった
 【図表】クラウドに関するテーマの変化
 【図表】クラウド転換によるビジネスの変化
 1.1.2. 「クラウドの構築」から「クラウドの活用」へ
 1.2. 再整理が必要なクラウドコンピューティングの定義
 1.2.1. 複合的なメリットが混乱の原因
 1.2.2. 俊敏性・柔軟性がテクノロジー目線からの特徴
 【図表】ITアウトソーシングのトレンドのなかのクラウド
 1.2.3. これからはユーザー目線でクラウドの整理が必要に
 【図表】視点の違いによるクラウドイメージの差
 1.2.4. クラウドのメリットは必須ではない
 【図表】クラウドの特徴に対するニーズ
 1.2.5. テクノロジーはコモディティ化する
 1.2.6. クラウド活用が焦点に
 1.3. クラウドが社会を進化させる
 1.3.1. クラウドの真価はこれから問われる
 1.3.2. クラウド利活用の時代—主役はインフラベンダーからSlerに
 【図表】クラウドに関するテーマの変化
 【図表】ベンダーのクラウドに対する考え
 2. クラウドコンピューティングの分類
 2.1. プライベートは企業内部と企業外部に
 【図表】クラウドコンピューティングの分類
 2.2. IaaS/PaaS/SaaSの区分は賞味期限切れか
 3. クラウドコンピューティング市場の実態
 3.1. クラウド市場概況
 3.1.1. コスト削減を狙いプライベートクラウドが注目の市場に
 3.1.2. 2010年は国産パブリッククラウド元年
 3.2. 国産IaaSの評価
 3.3. ハイブリッドは発展途上も確実に進展
 3.3.1. 確実に進展するハイブリッドクラウドとクラウド間連携
 3.3.2. 立場により異なるハイブリッドクラウドへの接し方
 【図】クラウド利用/提供 ベンダー区分
 3.4. インターナルプライベートクラウド市場規模
 3.4.1. 2010年のインターナルプライベートクラウド市場は640億円に
 【図表】インターナルプライベートクラウド市場規模予測 (2010見込~2015予測)
 3.4.2. 早い段階で競争激化になる可能性
 【図】仮想化・クラウド二つの成長曲線
 【図表】自社クラウド基盤構築/従業員規模別 自社クラウド基盤構築 予算イメージ

II アンケート結果の分析

1. アンケートについて
 1.1. アンケート実施内容
 2. クラウドコンピューティングの認知と利用
 2.1. クラウドコンピューティングの認知率—高いクラウド認知も理解浸透にはまだ時間が必要
 【図表】クラウドコンピューティングの認知状況
 【図表】売上高規模別 IaaS/PaaS/SaaSの認知度
 2.2. 利用率および利用意向—インターナルプライベートクラウドが先行
 【図表】クラウドコンピューティングの利用状況と利用意向
 【図表】従業員別関心度 (インターナル、エクスターナル、パブリック)
 2.3. 利用開始時期
 2.3.1. 3年内には大幅な進展がみられそう
 【図表】クラウドの利用時期
 【図表】利用を開始する予定
 【表】平均導入時期 (インターナル、エクスターナル、パブリック)
 2.3.2. インターナルプライベートクラウドの予算動向
 【図表】業種別 自社クラウド基盤構築予算イメージ
 【図表】従業員規模別 自社クラウド基盤構築予算イメージ
 2.4. クラウド移行割合—システムの30%が上限

【図表】クラウド移行割合
 【表】クラウド移行割合
 2.5. まとめ
 【図】関心有無—利用時期へのユーザー割合の流れ
 3. クラウドのコアベネフィットに対するニーズ
 3.1. 俊敏性・柔軟性に対するニーズ
 【図表】クラウドの特徴に対するニーズ
 【図表】クラウド特徴 (迅速な利用・解約)
 【図表】業種別 クラウド特徴 (迅速なストレージ容量変更)
 【図表】業種別 クラウド特徴 (必要な分だけコスト負担)
 4. 基幹系SaaSの今後の進展について
 4.1. 2008年9月実施アンケート 回答企業のプロフィール
 4.1.1. 【図表】業種 (2008年調査)
 4.1.2. 【図表】従業員数 (2008年調査)
 4.1.3. 【図表】売上高規模 (2008年調査)
 4.2. SaaSの認知度—認知度は高まるが上昇率は弱い
 【図表】SaaSの認知度 (2008/2010)
 4.3. 基幹システムのSaaS利用—少しずつだが着実に増加
 【図表】業種別 基幹システムのSaaS利用 [SA]
 4.4. 基幹システムのSaaS利用 検討する理由
 【図表】業種別 基幹システムのSaaS利用 検討する理由 [MA]
 4.5. 基幹システムのSaaS利用 検討しない理由 [MA]
 【図表】業種別 基幹システムのSaaS利用 検討しない理由 [MA]
 4.6. 基幹システムのSaaS利用開始時期—2011~2012がベンダー選定時期になるか
 【図表】業種別 基幹システムのSaaS利用 利用希望時期 [SA]
 III 各社の戦略
 ◇株式会社インターネットイニシアティブ
 I|J GIOサービスメニュー
 急伸するIaaS「ホスティングパッケージ」
 【表】ホスティングパッケージ プラン一覧
 地理的優位性とテクノロジーで差別化を狙う
 クラウドにより新規ユーザーの獲得も
 ハイブリッドクラウドに対する考え
 インフラベンダーとして明確なポジショニング
 ◇株式会社CSK
 CSKが目指すハイブリッドクラウド
 CSKのクラウドメニュー
 【図】ハイブリッドクラウドのアーキテクチャ
 CSKのクラウド戦略と同社の強み
 ◇ソフトバンクテレコム株式会社
 ホワイトクラウドを新たな柱に
 サービスラインアップ
 【図表】ホワイトクラウド サービスラインアップ
 自らがファーストユーザー
 デスクトップサービスが堅調
 マーケティングツールとしてのホワイトクラウド
 システム特性により使い分けのハイブリッドクラウドに
 ◇ニフティ株式会社
 順調なスタートを切ったニフティクラウド
 ゲームやSNSなどエンターテインメント系が先行
 エンタープライズ系の開拓が今後の狙い
 クラウドならではの利活用が今後の課題
 ハイブリッドクラウドへの対応
 ◇日本アイ・ビー・エム株式会社
 グローバル・スケールを活かしたIaaSの提供を開始
 【図】IBM 共通パブリック・クラウド基盤の概念図
 【図】クラウド・データセンターの拠点
 クラウド基盤上で展開されるサービス
 適用業務に応じたクラウドサービスを提供
 昨今の市況
 CAST IRON社の買収でハイブリッドも充実
 ◇日本ユニシス株式会社
 日本ユニシスのICTサービス

【図】日本ユニシス クラウドサービス全体像
 伸びるIaaSと徐々に実現するハイブリッドクラウド
 【図】ICTホスティングサービスの全体像
 【図】エクスターナルプライベートクラウド
 クラウドにおける課題
 クラウドが変える業界構造
 ◇株式会社日立情報システムズ
 日立情報システムズのクラウドサービス
 【表】クラウドソリューション体系
 プライベートクラウドが伸張
 オンデマンドサービスは付帯サービスを含めた提供に
 ハイブリッドクラウドやNWに関する今後の課題など
 ◇株式会社日立製作所
 Harmonious Cloudのコンセプト
 金額ではプライベート・件数ではパブリック
 2012年にはハイブリッドクラウドが本格化
 【図】日立が考えるクラウドの進化
 ハイブリッドクラウドの課題
 ミッションクリティカル領域へのクラウド適用を目指す
 ◇富士ソフト株式会社
 富士ソフトのクラウドインテグレーションサービス
 Google・Microsoftの両方を提供
 エクスターナルプライベートクラウド基盤の構築へ
 IaaS/PaaSを利用するクラウドインテグレーターへ
 ◇富士通株式会社
 富士通の多彩なクラウドサービスラインアップ
 来年度には本格化する見通し
 ユーザーのニーズ動向
 パブリックからプライベートまで全方位提供
 各種連携が進みハイブリッドクラウドも現実のものに
 社会に役立つクラウドを目指す
 【図】価値創造型ICT基盤 概念図
 ◇みずほ情報総研株式会社
 みずほ情報総研のクラウドビジネス
 みずほFG向けSalesforce CRMから発展
 ハイブリッドクラウドの意義
 クラウドコンピューティングがSlerに与える影響
 競争激化になるほど経験が生かせる市場に

IV 集計表

1. プロフィール
 1.1. 【図表】業種
 1.1.1. 【図表】売上高規模別 業種
 1.1.2. 【図表】従業員規模別 業種
 1.2. 【図表】売上高規模 (2009年度)
 1.2.1. 【図表】業種別 売上高規模 (2009年度)
 1.2.2. 【図表】従業員規模別 売上高規模 (09年度)
 1.3. 【図表】売上高 (2010年度予想)
 1.3.1. 【図表】業種別 売上高規模 (2010年度予想)
 1.3.2. 【図表】従業員規模別 売上高規模 (2010年度予想)
 1.4. 【図表】業種別 従業員数規模
 1.4.1. 【図表】業種別 従業員規模
 1.4.2. 【図表】売上高規模別 従業員数規模
 1.5. 【図表】IT関連要員数規模
 1.5.1. 【図表】業種別 IT関連要員数規模
 1.5.2. 【図表】売上高規模別 IT関連要員数規模
 1.5.3. 【図表】従業員規模別 IT関連要員数規模
 1.6. 【図表】上場有無
 1.6.1. 【図表】業種別 上場有無
 1.6.2. 【図表】売上高規模別 上場有無
 1.6.3. 【図表】従業員規模別 上場有無
 1.7. 【表】サーバ台数
 1.7.1. 【図表】業種別 サーバ台数 (平均)
 1.7.2. 【図表】売上高規模別 サーバ台数 (平均)
 1.7.3. 【図表】従業員規模別 サーバ台数 (平均)

2. クラウド認知度		
2.1. 【グラフ表】 認知度	129	4.2.1. 【グラフ表】 業種別 クラウド特徴（迅速なストレージ容量変更）
2.2. 【グラフ表】 認知度（クラウドコンピューティング）	130	4.2.2. 【グラフ表】 売上高規模別 クラウド特徴（迅速なストレージ容量変更）
2.2.1. 【グラフ表】 業種別 認知度（クラウドコンピューティング）	131	4.2.3. 【グラフ表】 従業員規模別 クラウド特徴（迅速なストレージ容量変更）
2.2.2. 【グラフ表】 売上高規模別 認知度（クラウドコンピューティング）	132	4.3. 【グラフ表】 クラウド特徴（必要な分だけコスト負担）【SA】
2.2.3. 【グラフ表】 従業員規模別 認知度（クラウドコンピューティング）	133	4.3.1. 【グラフ表】 業種別 クラウド特徴（必要な分だけコスト負担）
2.3. 【グラフ表】 認知度（IaaS）	134	4.3.2. 【グラフ表】 売上高規模別 クラウド特徴（必要な分だけコスト負担）
2.3.1. 【グラフ表】 業種別 認知度（IaaS）	135	4.3.3. 【グラフ表】 従業員規模別 クラウド特徴（必要な分だけコスト負担）
2.3.2. 【グラフ表】 売上高規模別 認知度（IaaS）	136	5. 基幹システムのSaaS利用
2.3.3. 【グラフ表】 従業員規模別 認知度（IaaS）	137	5.1. 【グラフ表】 基幹システムのSaaS利用【SA】
2.4. 【グラフ表】 認知度（PaaS）	138	5.1.1. 【グラフ表】 業種別 基幹システムのSaaS利用
2.4.1. 【グラフ表】 業種別 認知度（PaaS）	139	5.1.2. 【グラフ表】 売上高規模別 基幹システムのSaaS利用
2.4.2. 【グラフ表】 売上高規模別 認知度（PaaS）	140	5.1.3. 【グラフ表】 従業員規模別 基幹システムのSaaS利用
2.4.3. 【グラフ表】 従業員規模別 認知度（PaaS）	141	5.2. 【グラフ表】 基幹システムのSaaS利用 検討しない理由【MA】
2.5. 【グラフ表】 認知度（SaaS）	142	5.2.1. 【グラフ表】 業種別 基幹システムのSaaS利用 検討しない理由
2.5.1. 【グラフ表】 業種別 認知度（SaaS）	143	5.2.2. 【グラフ表】 売上高規模別 基幹システムのSaaS利用 検討しない理由
2.5.2. 【グラフ表】 売上高規模別 認知度（SaaS）	144	5.2.3. 【グラフ表】 従業員規模別 基幹システムのSaaS利用 検討しない理由
2.5.3. 【グラフ表】 従業員規模別 認知度（SaaS）	145	5.3. 【グラフ表】 基幹システムのSaaS利用 検討したい理由【MA】
2.6. 【グラフ表】 認知度（プライベートクラウド）	146	5.3.1. 【グラフ表】 業種別 基幹システムのSaaS利用 検討したい理由
2.6.1. 【グラフ表】 業種別 認知度（プライベートクラウド）	147	5.3.2. 【グラフ表】 売上高規模別 基幹システムのSaaS利用 検討したい理由
2.6.2. 【グラフ表】 売上高規模別 認知度（プライベートクラウド）	148	5.3.3. 【グラフ表】 従業員規模別 基幹システムのSaaS利用 検討したい理由
2.6.3. 【グラフ表】 従業員規模別 認知度（プライベートクラウド）	149	5.4. 【グラフ表】 利用希望時期【SA】
2.7. 【グラフ表】 認知度（パブリッククラウド）	150	5.4.1. 【グラフ表】 業種別 利用希望時期
2.7.1. 【グラフ表】 業種別 認知度（パブリッククラウド）	151	5.4.2. 【グラフ表】 売上高規模別 利用希望時期
2.7.2. 【グラフ表】 売上高規模別 認知度（パブリッククラウド）	152	5.4.3. 【グラフ表】 従業員規模別 利用希望時期
2.7.3. 【グラフ表】 従業員規模別 認知度（パブリッククラウド）	153	6. 将来のクラウド移行割合
3. クラウドの利用状況		6.1. 【グラフ表】 クラウド移行割合【SA】
3.1. 【グラフ表】 関心度（自社クラウド基盤活用）【SA】	154	6.1.1. 【グラフ表】 業種別 クラウド移行割合
3.1.1. 【グラフ表】 業種別 関心度（自社クラウド基盤活用）	155	6.1.2. 【グラフ表】 売上高規模別 クラウド移行割合
3.1.2. 【グラフ表】 売上高規模別 関心度（自社クラウド基盤活用）	156	6.1.3. 【グラフ表】 従業員規模別 クラウド移行割合
3.1.3. 【グラフ表】 従業員規模別 関心度（自社クラウド基盤活用）	157	6.2. 【グラフ表】 アウトソーシングプロセス【SA】
3.2. 【グラフ表】 利用開始時期（自社クラウド基盤）【SA】	158	6.2.1. 【グラフ表】 業種別 アウトソーシングプロセス
3.2.1. 【グラフ表】 業種別 利用開始年（自社クラウド基盤）	159	6.2.2. 【グラフ表】 売上高規模別 アウトソーシングプロセス
3.2.2. 【グラフ表】 売上高規模別 利用開始年（自社クラウド基盤）	160	6.2.3. 【グラフ表】 従業員規模別 アウトソーシングプロセス
3.2.3. 【グラフ表】 従業員規模別 利用開始年（自社クラウド基盤）	161	□アンケート票
3.3. 【グラフ表】 予算イメージ（自社クラウド基盤）	162	
3.3.1. 【グラフ表】 業種別 予算イメージ（自社クラウド基盤）	163	
3.3.2. 【グラフ表】 売上高規模別 予算イメージ（自社クラウド基盤）	164	
3.3.3. 【グラフ表】 従業員規模別 予算イメージ（自社クラウド基盤）	165	
3.4. 【表】 構築期間イメージ（自社クラウド基盤）	166	
3.4.1. 【グラフ表】 業種別 構築期間イメージ（自社クラウド基盤）	167	
3.4.2. 【グラフ表】 売上高規模別 構築期間イメージ（自社クラウド基盤）	168	
3.4.3. 【グラフ表】 従業員規模別 構築期間イメージ（自社クラウド基盤）	169	
3.5. 【グラフ表】 関心度（ITベンダのクラウド基盤活用）【SA】	170	
3.5.1. 【グラフ表】 業種別 関心度（ITベンダのクラウド基盤活用）	171	
3.5.2. 【グラフ表】 売上高規模別 関心度（ITベンダのクラウド基盤活用）	172	
3.5.3. 【グラフ表】 従業員規模別 関心度（ITベンダのクラウド基盤活用）	173	
3.6. 【グラフ表】 利用開始年（ITベンダのクラウド基盤）【SA】	174	
3.6.1. 【グラフ表】 業種別 利用開始年（ITベンダのクラウド基盤）	175	
3.6.2. 【グラフ表】 売上高規模別 利用開始年（ITベンダのクラウド基盤）	176	
3.6.3. 【グラフ表】 従業員規模別 利用開始年（ITベンダのクラウド基盤）	177	
3.7. 【グラフ表】 関心度（パブリッククラウド活用）【SA】	178	
3.7.1. 【グラフ表】 業種別 関心度（パブリッククラウド活用）	179	
3.7.2. 【グラフ表】 売上高規模別 関心度（パブリッククラウド活用）	180	
3.7.3. 【グラフ表】 従業員規模別 関心度（パブリッククラウド活用）	181	
3.8. 【グラフ表】 利用開始年（パブリッククラウド活用）【SA】	182	
3.8.1. 【グラフ表】 業種別 利用開始年（パブリッククラウド活用）	183	
3.8.2. 【グラフ表】 売上高規模別 利用開始年（パブリッククラウド活用）	184	
3.8.3. 【グラフ表】 従業員規模別 利用開始年（パブリッククラウド活用）	185	
4. クラウドのコアベネフィットに対するニーズ		
4.1. 【グラフ表】 クラウド特徴（迅速な利用・解約）【SA】	186	
4.1.1. 【グラフ表】 業種別 クラウド特徴（迅速な利用・解約）	187	
4.1.2. 【グラフ表】 売上高規模別 クラウド特徴（迅速な利用・解約）	188	
4.1.3. 【グラフ表】 従業員規模別 クラウド特徴（迅速な利用・解約）	189	
4.2. 【グラフ表】 クラウド特徴（迅速なストレージ容量変更）【SA】	190	